



## 特集 最前線より ～コロナ診療の現場から～



### CONTENTS

- 特集 コロナ診療の現場から ..... P.2～
- 密着取材! 「管理栄養士」の1日 ..... P.5
- 地域医療連携だより ..... P.6～
- INFORMATION ..... 裏表紙

令和3年 秋号

Vol.69

#### ～ 受診される患者さまの権利 ～

1. 個人の人権を尊重した良質な医療を受ける権利
2. プライバシーが保護される権利
3. 納得のいく説明と情報提供を受ける権利
4. 自らの意思で検査・治療法などを選択、あるいは拒否する権利
5. セカンドオピニオンを得る権利

# コロナ診療の現場から

特集！  
最前線より

深谷赤十字病院は現在、新型コロナウイルス感染症専用病床として23床を充てて運用しています。まだコロナ患者の受入れ可能な病院が少なかった2020年2月には最初の患者を受入れ、2021年9月までの間に受入れた患者数は既に300名を超えています。この中には重症患者の方も含まれており、人工呼吸器管理が必要となった方も多くおられます。

今回は、実際にコロナ診療に取り組んできた当院の医師たちから、その経験を通じて感じた感染対策のポイントや療養時の注意点、診療の様子などについてお話をさせていただきます。

## 感染制御医師 高良 勝彦

(腎臓内科副部長)

### 感染経路からみた感染対策

「コロナウイルスは飛沫(エアロゾル)や接触感染により感染するといわれていますが、飛沫感染は特に注意が必要です。実はコロナウイルスは感染が広がる時と広がらないときの差が激しく、それは環境に左右されるといわれています。飛沫の密度が濃くなる状況に長時間いると感染しやすいです。また、飛沫をたくさん吸ってしまつと肺炎が重篤になりやすいといわれています。

マスクをしていたのに感染したとおっしゃる患者様が時々おられますが、飛沫が濃い場所に長時間いると、さすがにマスクをしていてもウイルスの侵入を防ぎきれなくなります。そして、肺にウイルスが届いてしまつと肺炎を起すことがあります。飛沫による感染は、接触感染に比べると重症化しやすいのではないかと思えます。飛沫が濃くなる環境を作らないことや正しい状況の中に長時間いることを避けるのが重要な感染対策となります。

接触感染もあるにはありますが、患者様の感染状況を聞いてみると圧倒的に少ないように思います。しかしこれは手洗いや消毒が必要ないということを意味するものではありません。手洗いや消毒はこれからも続けたいです。

### 療養時の注意点

深谷日赤は中等症以上の、病状の重い方たちが入院してきます。その中で重症化していく方は比較的経過が似ていて、発症後10日後も高熱が続き、徐々に酸素飽和度が低下していきます。酸素飽和度が90%を下回ると危険です。酸素投与もしくは入院が必要になります。したがって、自宅療養や施設入所経過観察を行っている方が、発症後10日経過してからも高熱(おおむね38度以上)が続いていた場合、その後も病状が悪化していく可能性が高いと考え、重症化への注意を急ぐのはいいかもしれません。

しかし、発熱が目立たないまま酸素飽和度が低下していく方もまれにおられます。酸素飽和度を見ることが非常に重要です。

最後になりますが、住民の皆様のご健康をお祈りし、地域医療に携わる方々の日頃の、協力への感謝を述べさせていただきます。



小児の発熱外来について

小児科部長 渡邊 裕之

現在小児科は、コロナウイルス感染症の検査を含め、診察及び必要な場合には採血など検査、処方を平日の午前中に行っています。(午後には受診の場合は要相談。)また、お父さんだけでなく、保護者の方も一緒に受診し、PCR検査を受けることも可能です。午前中に受診された場合には、PCR検査の結果はその日の午後には電話連絡でお知らせします。(午後には受診された場合は、当日夜かまたは翌日となります。)

小児の発熱は、一般的にはウイルス感染による上気道炎や胃腸炎、中耳炎、肺炎など感染症による熱が多いですが、他に川崎病や尿路感染症など入院が必要となる場合もあります。熱が長く続く時や、具合が悪い時、またコロナが心配な時は、小児の発熱外来を受診してください。

保育園や学校などで陽性者が出ていて、濃厚接触者ではないけれど、お子さんが発熱や咳、下痢などの症状があつて心配といった場合でも、小児の発熱外来を受診していただければ、診察や検査PCRや抗原検査など、要すれば採血やレントゲン、処方が可能です。

濃厚接触者となつてしまった場合や、コロナ陽性になつてしまったお子様の診察(検査)採血・レントゲンなども受け入れています。具合によっては入院治療も可能です。

PCR検査などの検査については公費で行ひ、負担は掛かりません。ご心配な方は、その症状にためりわずに受診やご相談をしてください。ご心配受診の際は、当日は病院に一度、電話連絡をして頂いてから来院してください。



妊婦もスタッフも守るために必要なこと

産科部長 松本 智恵子

未曾有の感染症が「パンデミック」となり、我々も国内流行当初から危機感を持ち始めました。周産期部門の管理は特殊なためです。分娩中の妊婦さんに長時間寄り添う助産師、まさに分娩室は「密」です。元来「準清潔区域」\*である分娩棟に「感染症患者」を入れて、かつ院内伝播も起こさずに他の妊産婦や新生児、スタッフをまもるという命題も重いものでした。\*清潔区域は手術室やクリーン・ルーム等)

学会や医会の勧告等を基に、新型コロナウイルス感染症の妊婦さんの分娩は「予定の帝王切開の方針」としました。限られた時間内で確実に出産を終ることができるからです。なお中央手術室では「コロナ」帝王切開の緊急対応は困難で、あえて病棟内を「ゾーニング」し分娩棟内の手術室で対応することにして何度もシミュレーションをしました。医療者がつける多数の個人防護具の装着は相当手間です。脱ぐ時は汚染されていますからしっかりと気を遣います。

使用する病室や手術室の感染予防の環境整備や、原状復帰のための除菌や清掃にも想像以上のマンパワーや時間が必要で「準清潔区域」



の分娩室も移設して、清潔エリアの通常業務も行わなければなりません。初期の頃、妊娠初期の陽性者が数名出ましたが軽症のまま改善し、その後お産しています。今年に入り、妊娠中期の内科的な治療を必要とする方々も出てきました。

特に他院通院中の満期の妊婦さんの受け入れに際しては、急な転院と帝王切開という方針に皆さん大変戸惑っておられました。それでも防護具下、限られた対応時間の中でコミュニケーションを図りつつ、最後は「コロナ」に共に立ち向かう仲間のように感じたのは我々だけだったでしょうか。マスクの下はスタッフ皆笑顔で頑張っています。

基本に立ち返つての感染予防、コロナワクチン接種の検討をお願いします。「エアロゾル」を意識してマスクを正しく付けることも大切かと思えます。



# 新型コロナウイルス感染症の 現在の対応について

院長 伊藤 博



「コロナ診療の現場から」で高良、渡邊、松本の3人の医師がそれぞれの科の立場から、コロナ診療にあたる様子を述べています。第5波のピークとなった8月下旬では、埼玉県を要請で重症ベッド3床を4床に増床したにもかかわらず、県内の他の受け入れ施設の状況も逼迫しており、コロナ専用病棟での人工呼吸器装着者が5人となり、夜間を含め現場スタッフの対応が一杯となってしまいました。9月に入って急速に患者数が減少しはじめ、ようやく一息つける状態となりました。当院の特徴として地域周産期母子医療センターという事もあり、コロナ感染陽性母子や妊婦の受け入れを行なっている事が挙げられます。産科の松本部長も述べているように、コロナ陽性妊婦の分娩は、周囲感染の暴露を抑えるため、産道感染のリスクを減らすために帝王切開で行われます。新生児、小児ではコロナウイルスが細胞内に侵入するために必要なアンギオテンシン変換酵素（ACE）受容体の発現が成人と比べ低いので、重症化は極めて少ないと考えられています。

昨年の2月のクルーズ船の患者受け入れから始まった新型コロナウイルスとの当院での戦いも一年半以上の長期に及び、対応に当たる現場のスタッフ、検温やエック、発熱外来さらにはワクチン接種に携わる全職員に感謝とともに誇りに思います。

これから先も第6波と長い闘いが予想されますが、救急医療をはじめ周産期医療、がん診療その他の一般診療を担う公的総合病院としての役割を果たしつつ新型コロナウイルス感染症と対峙していく所存です。

## 当院へお越しの際にはご協力をお願いします

令和3年10月現在、県内での流行は一段落し、多くの方がワクチンを2回接種済みとなっています。しかしワクチンは感染を完全に防げるものではなく、接種済みの方にも感染が広がるなど、油断をすると今夏のような感染拡大状況になるかも知れません。

基本的な感染防止の習慣は今までどおり続けるとともに、発熱などの症状がある場合は、必ず来院時（受診前）にお声がけ頂くなど、引き続き感染拡大防止へのご理解とご協力をお願いいたします。

### マスクは正しく必ず着用してください



患者さま、付添いの方を含めて必ず着用してください。

### 手指消毒をしてください



入館時には手指消毒をお願いします。また、院内各所にも設置しております。

### 玄関前健康観察を実施しています



入館されるすべての方に実施しています。入館時の発熱や体調等のチェックにご協力ください。

### 発熱など症状がある場合は



予約の外来をそのまま受診せず、病院スタッフへご相談下さい。救急へ受診する場合も、発熱などがある場合は事前に申し出てください。

# 密着取材!

## 管理栄養士の1日

～当院のスタッフの「とある1日」をご紹介します～

11:30～

### 検食

必ず入院患者さんの喫食前に、栄養士と医師がその日の病院食を食べます。

一食全体のバランスを踏まえて、味、食感、見た目等の評価を行います。



▲直営ならではのメニューも



13:30～

### 残食調査



病棟から下膳されてきた食器を一つずつ確認していきます。

残食の様子は病棟へ共有し、気になる患者さんには話を聴きに行くことも。

14:00～

### 栄養指導



「いつも白米はどれくらい食べますか?」「120gのごはんはこれくらいです」などと会話を交わしながら患者さん一人ひとりに合わせたオーダーメイドの栄養指導を行います。

15:00～

### 心不全支援チーム活動

栄養指導した際の様子等を他職種スタッフへ共有します。

カンファレンス▶



16:00～

### 食数管理業務

もともと予定していた食事内容や形態、食数に変更があった場合に厨房へその内容を伝え、変更を依頼します。



当院の栄養課は、管理栄養士7名、栄養士4名、調理師15名のスタッフが活躍しており、食材管理から患者さんに食事が届けられるまですべて院内で行う「直営」のため、患者さんのご意見を反映しやすいことが特徴です。また病棟や調理師との密な連携により、アレルギーやハラル食等にも細かく対応し、たくさんの種類の食事を作り分けています。



荻野 由美子

管理栄養士

8:30～

### ※「栄養管理計画書」の作成



入院から退院まで全ての患者さんに対して、栄養管理を行います。

\* 栄養管理計画書: 現在どのような食事を食べているのか、どのような栄養がどれくらい必要か等を確認すること。医師、看護師と協働し、作成している。

9:10～

### 栄養課ミーティング



栄養士と調理師が参加し、食材の変更、アレルギー食やハラル食の有無など、申し送りを行います。

9:20～

### 献立づくり



残食調査や年に数回行っている患者さんへの嗜好調査等を参考にしながら献立を考えます。

10:00～

### 緩和ケアチーム活動



「がん病態栄養専門管理栄養士」という認定資格を持っており、多職種の専門チームに参加しています。

▲カンファレンス

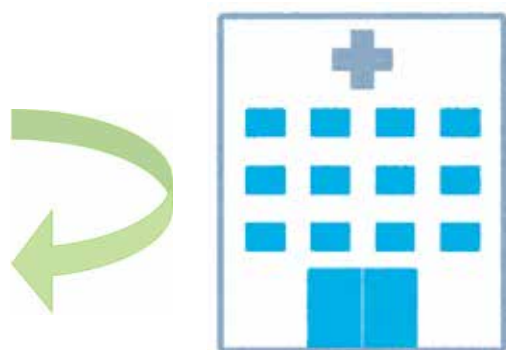
食事内容の変更を提案する一コマも。



▲病棟回診

# 地域医療連携だより

## 深谷赤十字病院は地域との医療連携に努めています。



当院は、初期診療や慢性の継続診療などは、「かかりつけ医」の先生に診ていただき、専門的な検査や診察、また入院が必要な治療は病院が受け入れるという役割分担を行っており、地域の皆様が継続して適切な医療が受けられるような体制を維持しています。

毎号、医療連携にご協力いただいている医療機関を順次ご紹介しています。

### すみや医院

住所 〒360-0857 熊谷市西別府1855-5  
電話 048-533-8890  
院長 角谷 秀典  
診療科 泌尿器科、皮膚科、性病科、内科  
休診日 土曜午後、木曜、日曜、祝日  
診療時間 午前9時～12時 午後3時～6時  
\* 火曜午後は2時～5時  
\* 完全予約制



### 院長先生からのメッセージ

平成5年4月開院。当初、前立腺肥大症の高温度治療を施行。

現在、メンズヘルス(男性の健康)をキーワードに、男性更年期、ED、性感染症、睡眠時無呼吸症候群、成人病予防などに力を入れています。また、一般内科、泌尿器科、皮膚科診療、ワクチン接種も行っています。

### 山田整形外科内科医院

住所 〒369-1202 大里郡寄居町桜沢218-5  
電話 048-581-6761  
院長 山田 晴康  
診療科 整形外科、内科、リウマチ科、  
リハビリテーション科  
休診日 水曜午後、日曜、祝日  
診療時間 午前8時～12時 午後3時～6時  
土曜午後は予約制



### 院長先生からのメッセージ

深谷日赤退職後、寄居町に開院し早32年が過ぎました。地域基幹病院として重要な役割を果たされ、大変心強い限りです。

現在、世界中の人々が未曾有の新型コロナウイルス感染症との闘いの日々です。深谷日赤は新型コロナ治療のみならず、収束後医療もイニシアチブを取り、我々に希望の光を与えて下さる事を祈念致しております。

## <地域の皆様へのご案内>

**当院を受診の際は、紹介状をご持参ください。**

当院受診の際（初診時）は、他の医療機関からの紹介状（診療情報提供書）をご持参いただくことをお勧めします。

**紹介状（診療情報提供書）をご持参いただいた場合は、国が定める初診時選定療養費（医科 5,500 円・歯科 3,300 円）のご負担がなくなります。**



### 千田医院

住 所 〒367-0104 児玉郡美里町根木107-1  
電 話 0495-76-0041  
院 長 千田 俊哉  
診 療 科 内科、小児科、消化器科、外科、整形外科、  
リハビリテーション科、放射線科  
休 診 日 木曜午後、第4土曜、日曜、祝日  
診 療 時 間 午前8時30分～12時30分  
午後4時～6時45分  
\*土曜午後は3時～6時



#### 院長先生からのメッセージ

深谷赤十字病院には、心臓疾患、消化器疾患等でいつもお世話になっています。今後ともよろしくお願いいたします。

### 福島歯科医院

住 所 〒366-0034 深谷市常盤町56-5  
電 話 048-572-8148  
院 長 福島 康裕  
診 療 科 歯科、小児歯科  
休 診 日 木曜、日曜、祝日  
診 療 時 間 午前9時30分～12時 午後2時～6時  
\*土曜午後は2時～5時



#### 院長先生からのメッセージ

開院から36年目に突入しました。痛くなってから来院する患者さんは、まだまだ多いと思います。しかし、最近では、検診や歯周病予防、メンテナンスで定期的に来院する患者さんもかなり増えております。「先生の顔を見に来たよ」などと言われると、ちょっと嬉しいです。

# INFORMATION

## ～当院の放射線機器をぜひご利用ください～

当院の所有する放射線機器は、登録医療機関の先生方にご活用いただけるよう「共同利用」の仕組みをとっています。共同利用とは、CTやMRI、RI検査など検査を目的とした患者紹介です。当院で検査を行い、放射線読影専門医が速やかに読影レポートを作成し、診療情報のご提供をさせていただきます。

対象の検査:CT[単純・造影] / MRI[単純・造影・VSRAD] / RI[骨シンチ、SPECTなど15種] / マンモグラフィー  
対象の部位:頭部 / 頸部 / 胸部 / 腹部～骨盤部 / 四肢(骨)



### 【検査の流れ】

- ①登録医療機関の先生から、放射線診断科ダイレクト検査予約担当へ直接お電話にてお申しいただきます。(日時は患者さんのご都合に合わせてご案内します。) ※お電話と併せて、所定様式をFAXで送信ください。
- ②ご予約された先生から、患者さんへ検査日時、注意事項などのご説明をお願いします。
- ③患者さんが「診療情報提供書」など必要な書類を持参し、当院へ来院。所定の検査を実施します。(検査費用をお支払いいただきます。)
- ④翌日、登録医の先生あて、読影結果、診療情報提供書、データを送付いたします。 ※検査翌日が病院休診日の場合は、翌診療日となります。
- ⑤登録医療機関の先生から患者さんへ検査結果のご説明をお願いします。

<お問合せ先>  
地域医療連携課  
TEL: 048-571-1511 (代)

<お申し込み先>  
放射線診断科ダイレクト検査予約担当 (内線: 6223)  
TEL: 048-571-1511 (代)

## 栄養課からの人気食おすすめレシピ

### — 豚キムチ —

木々の葉の色が変わりはじめ、今年も秋がやってきました。

秋といえば、食欲の秋! という方にはピッタリのご飯がすすむ“豚キムチ”を紹介します。当院のレシピはマイルドな辛さなので、辛い物が苦手な方でも美味しく召し上がれます。炒めるだけで簡単にできあがりますので、ご家庭で作ってみてはいかがでしょうか?

### 作り方

- ①キャベツはざく切りに、ニラは長さ3～4cmに、赤ピーマンは中の種を取り除き幅5mmの細切りにしておく。
- ②フライパンを熱し油をしき、豚こま肉を入れ炒め、火が通ってきたら、①の野菜を入れ、さらに炒めていく。
- ③野菜に火が通ったら、Aの調味料を入れ炒め合わせる。
- ④最後に水溶性片栗粉をフライパンに回し入れ、とろみをつけたら火を止め、皿に盛る。
- ⑤卵を溶きほぐし塩を入れて混ぜ、フライパンを熱し油をしき、炒り卵を作る。
- ⑥④の豚キムチの上に⑤の炒り卵を盛り、最後に万能ねぎをのせれば完成。

### 材料(4人分)

- 豚こま肉…250g
- キャベツ…200g
- ニラ…1/2束
- 赤ピーマン…1/2個
- 油…大さじ1
- 片栗粉…大さじ1  
(あらかじめ水で溶いておく)
- <炒り卵>  
卵…2個
- 塩…小さじ1/4
- 油…小さじ1
- 万能ねぎ…適量  
(小口切りにしたもの)

- A  
しょう油…小さじ2 塩…小さじ1/4  
キムチの素…大さじ1

